



LITTLE ARTISTS LEAGUE の参加型アート「やさしさの花」 9月1日より「やさしさエピソード」や「やさしさの花」を募集開始！

アート団体「LITTLE ARTISTS LEAGUE」が、子どもたちの「やさしい気持ち」を花に表現した、コミュニケーションアートを提案します。

次世代を担う子どもたちがアートを通して多様な表現力とグローバル思考を育むことをミッションとした、アート団体「LITTLE ARTISTS LEAGUE」が、「やさしいことを一つすると、一つ咲くやさしさの花」をテーマに、双方向性の参加型コミュニケーションアート「やさしさの花」をオンラインギャラリーにて、9月1日から公開します。

ソーシャルディスタンスが求められる中、「人と人との繋がり」の重要性が鮮明になった2020年。参加者が、おもいやりのエピソードを作品にして、伝えることで、この時代を生きるみんなの心をつなぎます。

オンライン上では、映像制作チームHappy Sunny Coの撮影による、3つのコンセプト動画を公開。「やさしさの花」を「想像・imagine」し、「表現・create」し、「伝える・give」という3つのメッセージを動画で表現しています。

アフタースクールなどでアウトリーチのワークショップを開催する他、「やさしさの花」をお家で制作できるアートキットをオンラインで販売します。また投稿頂いた画像をつないで、12月に動画「やさしさの花：アトリレー」の公開を予定しています。



コンセプト動画3部作: Art Direction/ Little Artists League, Videography/ Happy Sunny Co, Photography/ Nanako Koyama

アート団体「LITTLE ARTISTS LEAGUE (リトル・アーティスト・リーグ)」

LITTLE ARTISTS LEAGUEは、2016年に創設されたバイリンガルのアーティストママ3人が率いるアート団体です。現在は、アートと海外にバックグラウンドを持つMioko Mochizuki、Lumico Harmony、Aimee Isobeがディレクターとして活躍しています。アートを通じて、多文化、多言語、そして表現の多様性に触れることで、柔軟な発想とグローバルな視野を育む取り組みをしています。LITTLE ARTISTS LEAGUEの高いアート性やデザイン性、そしてグローバルマインドにも触れられるワークショップは、子どものみにとどまらず幅広い層から人気を博しています。



LITTLE ARTISTS LEAGUE directors 左から Lumico Harmoy, Aimee Isobe, Mioko Mochizuki littlearartistsleague.org

開催概要

「やさしさの花」は「やさしいことを一つすると、一つ咲くやさしさの花」をテーマに、誰かにやさしくされたことや、誰かにやさしくしたエピソードを思い浮かべながら、花を作って想いを伝える、双方向性コミュニケーションアートプロジェクトです。

サイト: <https://www.littlearartistsleague.org/events/flowerofkindness>

応募: <https://www.littlearartistsleague.org/flowerofkindness-entry>

期間: 2020年9月1日～12月31日まで

対象: どなたでも無料で参加可能

主催: LITTLE ARTISTS LEAGUE

助成: アーツコミッション・ヨコハマ、心豊かな社会をつくるための子供教育財団

SNS: SNSのタグは@littlearartistsleague #flowerofkindness #やさしさの花



無料参加方法① やさしいエピソードを思い浮かべて、花を描いてみましょう!出来たら動画や写真をSNSでつぶやいてね (#やさしさの花 #flowerofkindness) 投稿頂いた画像をつないで、12月に動画「やさしさの花:アートルレー」を公開予定!

無料参加方法② やさしいエピソードを投稿すると、LALメンバーがそのお話にあった花を制作して公開します!エピソード投稿は応募サイトより!

有料参加方法① LITTLE ARTISTS LEAGUEオリジナル「やさしさの花」キットを購入して花を作り、「やさしいエピソード」と共にSNSに投稿。購入はこちらから。 <https://shoplal.theshop.jp/>

